



# ゴロスケ報々



## 友の会行事のお知らせ

### ●定点カメラで動物調査●

観察の森の中の散策路から一步森の中に入ると、そこは動物たちの世界です。森の中に設置したカメラには、そんな動物たちの世界が写っています。

動物が横切ると自動的にシャッターが下りる仕組みなので、飾らない素顔が写ります。タヌキがあんな姿をしたり、ウサギがこんな姿をしたり・・・そんな動物たちの姿を記録し、変化を調べる調査を行っています。動物の見分けがつかなくても、1回だけの参加もOKです。

活動は5月～11月の毎月第2土曜日の9時半～12時。

5/9(土)はカメラの設置、6/13(土)はカメラの回収、写真チェックを行います(カメラの設置、回収は友の会会員対象)。

雨天の場合には日程を変更する可能性がありますので、当日自然観察センターにご確認ください。汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参。着替えもできます。

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

## ●3月理事会報告●

日時 2015年3月15日(日) 9:30~12:05  
出席者 青木、漆原、大浦、落合、片岡、関根、中里、村松、山口(議長)、吉田、橋詰、渡部、古南R (欠席:秋元、志釜、中塚)

### 議事

#### 1 定期総会準備

- ・議案書(報告・決算・計画・予算・役員案)を確認しました。
- ・進行(役割)、準備日程(監査・印刷)等を確認しました。

#### 2 安全管理について

- ・マダニ安全講習の周知、課題を確認しました。
- ・事故等報告:なし

#### 3 その他

- ・ブログのTwitter、Facebook 連携について提案あり、課題・対策について次回継続検討します。
- ・長倉トイレ工事について、利用推進会議提示資料からの改善案の説明が市からあり、女性が使いやすいようサイン等工夫の要望を付して了承しました。
- ・次年度センター事業案について説明があり、日程重複等を確認しました。
- ・レンジャーの異動紹介がありました。

### <次回の理事会>

日時 5月17日(日)  
9:30~12:00  
場所 自然観察センター研修室  
議題 1 理事役割分担  
2 利用推進会議について  
3 安全管理について  
4 その他(ブログ連携ほか)

## ●3月定例会報告●

日時 2015年3月15日(日) 13:00~15:15  
出席者 青木、大浦(議長)、落合、片岡、篠原、関根(書記)、高橋、高柳、中里、八田、藤田、村松、山口、吉田、古南R

### 議題

1. 友の会の1月からの行事報告、プロジェクト報告をしました。いずれも年間計画通りの行事を実施しました。
2. 6月までの行事予定を確認しました。
3. ごろすけ館利用予定を確認しました。
4. 事務局より
  - ・午前中の理事会の報告が山口会長からありました。
  - ・青木会計担当理事より今年度決算、来年度予算の概要報告がありました。
  - ・友の会紹介の展示を下記の日程で行う予定です。  
栄区一本郷台駅前駐輪場展示スポット 8月17日~8月30日  
金沢区一区民活動センター展示コーナー 7月6日~7月18日  
準備等で会員の皆様のご協力をお願いします。詳しくはゴロ報6月号でお知らせします。
5. センターより
  - ・工事関係  
モンキチョウ広場、長倉トイレの改築、野外解説板の改修、樹木伐採についての説明がありました。
  - ・センター主催行事の予定の説明がありました。

### <次回の定例会>

5月17日(日) 13:00~  
センター研修室  
定例会は会員どなたでも出席できます。

## ●第27回定期総会の報告●

日時 2015年4月5日(日) 10:00~11:00

場所 自然観察センター研修室 出席者16名

議案 2014年度事業報告・決算報告、2015年度事業計画・予算、理事・監事選任

定期総会が開催され、議長に榎野淳一さんを選出、議案はいずれも原案どおり承認されました。2015年度も引き続き中期計画(2013-15 ごろすけ館を活用した情報発信や保全管理計画を活かす活動)の実施にご協力のほどよろしくお願い致します。

<2014年度報告> (人数は参加延べ人数。 ※…アライグマ捕獲罟巡回活動含む)

友の会行事	25 項目・185 回 (会員796 人、一般1,274 人)
センター行事支援※	4 項目・101 回 (会員226 人、一般 565 人)
ネットワーク活動	4 項目・ 6 回 ( 29 人)
会議等	5 項目・ 19 回 ( 177 人)
行事報告 合計	38 項目・311 回 (会員1,201 人、一般1,839 人)

PJ活動	30 項目・450 回 (2,504 人)
事務局内調査等活動	8 項目・ 53 回 ( 219 人)
事務局事務	4 項目・ 42 回 ( 109 人)
PJ活動報告 合計	42 項目・545 回 (2,832 人)

<2015 年度計画>

行事計画 38 項目・305 回 ※  
PJ活動計画 46 項目・572 回

<理事・監事選任>

PJ 枠 : 秋元・大浦・落合・志釜・中里・中塚・橋詰・村松  
事務局枠 : 青木・漆原・片岡・関根  
会員公募枠 : 山口  
監事 : 水上・兼武

<センターより>

レンジャー異動・挨拶がありました。

## ある日のガイドウォーク「森の色を決める樹」

ここから尾根を見てみましょうか。いい天気ですね。もし今日の森を絵に描くとしたら、どんな色の絵の具がいるでしょうね。(茶、灰色、緑、青とかの声) そうですね。他にどうでしょう、…。少しピンクっぽく見えませんか。(そう言えば、とうなづく顔と目) 実はこの森には、森の色を決める樹というのがあります。この季節はその樹の枝先がどんどん赤くなるので、この森も春が近づくと赤くなるんです。

それではちょっと移動して、森の色を決める樹を近くで見てください。(十数メートル移動する)

これが森の色を決める樹です。ほら、枝先が真っ赤でしょ。トナカイの樹とも言います。枝先がぜんぶトナカイの角のように上に伸びていますよね。枝先にもっと赤い丸いものがついています。何でしょう。(つぼみとか芽とかの声) そうですね。冬芽って言います。この中には、何が入っているんでしょう。(花とか葉っぱとかの声) 何が入っているか、どうすればわかりますか。(ちょっと困った表情も、…) この芽をむいてみればわかりますね(笑)。この森は採集は禁止されていますが、行事で観察する時、たくさんある丈夫なものを少しだけあちこちからもらうのは許してもらっています。そうそう、もらう時には必ず「神様、ごめんなさい」って言うのもルールです。

(みんなで)「神様、ごめんなさい」さあ、むいてみましょう。たくさん重ね着をしていますね。何枚あるんだろう。あれ何か見えました。(参加者の)手のひらにのせますよ。(葉っぱだ、の声) そうですね。小さな葉っぱの赤ちゃんが何枚も出てきました。きれいに光ってきれいですね。あれ、葉っぱを全部とったら、何か丸いものが残っています。(みんなのぞきこむ) これはブロッコリーです。わかりましたね、八百屋さんにあるブロッコリーはこの樹からできるんですよ。(まさか、と顔を見合わせる表情) ハハハ、この森のガイドはよく嘘を言いますから気をつけてくださいね(笑)。これは花の赤ちゃんです。

今、この冬芽が赤いのはこれから成長する葉や花の細胞を害のある紫外線から守るためだと言われています。5月の連休の頃になると小さな白い花がたくさん集まって、これくらいの(両手で大きさを見せながら)かたまりになります。それが森のあちこちで咲くので森にたくさんの白い雲が浮かんでいるように見えます。花が終わると新緑。そして夏に向けて緑が濃くなり、秋には葉が黄色くあるいは赤くなり、やがて葉っぱを全部散らして、しばらく灰色の森に戻りますが、また春が近づくと、…。

エッ、この樹の名前ですか。このガイドウォークは不親切で最初に名前を教えないんです(笑)。あなたなら、森の色を決める樹にどんな名前をつけますか。(一呼吸置いて、…) 図鑑の名前は、ミズキ、って言いますけどね。

さて、次は水辺で春を待つ生きものをさがしてみましょう。

Charlie (中塚隆雄) 森の案内人・ハンミョウの会

## ●「森の作業体験」報告●

森の作業体験（間伐体験）報告

2015年1月24日。一般参加者は、4家族を含め15人。朝9時集合。

ZFCの安全教育を受け、安全具を装着して、クヌギ林にむかった。3班に分かれ、班ごとに1本のトウネズカイロハモミジを各人交代で手鋸で伐採した。木を切ることが初めての人が多く、感激したようであった。炭小屋にかえて、火起こし・コースター作りをした。子供たちはこっちのほうが面白いようであった。

森の作業体験（炭焼き体験）報告

2015年2月21日。一般参加者は6家族を含め24人。

この日はドラム缶窯での炭焼きを着火から体験してもらった。そのほか大釜での炭焼きや、木酢液の蒸留についての、ZFC担当者による説明を聞いてもらった。炭を始めて見る子供もいて、炭焼きを楽しんだ。恒例ではあるが、火起こしとコースター作りも楽しんでもらった。

1人の父親が火起こしで実際着火に成功し、火起こし名人第1号になった。

雑木林ファンクラブ

## ●「はじめてのちいさなしぜんかんさつ会」報告●

3月22日、参加者は午前17人、午後18人（各回20人のところ、応募はなんと92人も!）、スタッフ3人で実施しました。

ウグイスの声を聞いたり、キブシを味見したり、コケの花をさわったり、コブシの花とつぼみの匂いをかぎわけたりしながら、池へ向かいます。午前の部は、落ちているアオキの赤い洋梨型の実や、コブシのつぼみのふわふわの皮など、いろいろ見つける子供が多く、ゆっくり観察しながら歩きました。池についたら、さっそくオタマジャクシを捕まえます。午後の部は、特に、自分の手でオタマジャクシを捕まえた子供たちがいっぱい。集中して、熱心に何度もトライしていました。まだオタマを触ったことがなかった小さな子供たちも、生まれて初めて、手に乗せてもらいます。「初めてオタマを自分で捕まえた」「初めて手に乗せた」、初めての体験の、うれしい歓声が上がっていました。池から出て、レンジャーさんが他の池で見つけてくれた卵を見てから、オタマジャクシの絵を描きました。オタマジャクシがたくさんいる様子、口がぱくぱくしてる様子、おなかを見たときの様子を描く子も！みんなの絵を木と木の間に張って、野外展覧会。絵は、家で綴じて絵本にしてもらえるように、持って帰りました。

事務局 ふじた・かおる

## 定例行事の報告

### ●定例行事の報告「畑プロジェクト」●

今年最後となる「畑と作物を作ろう」を3月21日（土）に「植付準備・雑木林の整備」をテーマとして行いました。

下半期では初めて参加者（双子の小学生と両親の4名）がありました。

先ず畑で、作物や動物の足跡・食痕・モグラの盛り土などを観察しました。次に作業として、畑の周囲の笹を刈ってもらいました。

予想以上に作業が進み、景観の変化に感激されていました。また作業後子供たちは、刈った笹の上で飛び跳ねたり、木に登ったりして楽しそうに遊んでいました。用事があるとのことで、再来を約束して早めに帰られました。

自然の中で少し汗をかいてみたい会員の方も、是非畑においでください。小さな労働力も大歓迎です。

# 友の会活動報告

## ●生きもの講習兼安全講習「マダニの生態と防除」 報告●

日時：3月21日（土）10時～12時

講師：橋本知幸さん（日本環境衛生センター）

参加者：友の会会員14人、レンジャー3人 計17人

### 講習内容のポイント

- ・橋本さんは、子どもの頃から虫好き。仕事は衛生昆虫の研究。私的には現在もチョウやミツバチを追いかけている。
- ・今日は外でマダニの調査実習もしたかったが、朝方の雨で下草や落ち葉が濡れている。こんな日はマダニは表面に出てこないなので調査できない。観察の森のような環境なら必ずいるので捕獲できると思い、生体サンプルは持ってこなかった。
- ・マダニは、節足動物門、クモ綱、ダニ目の中のグループで40数種。肉眼で見える比較的大きなダニで、血を吸わないと脱皮できない。マダニ以外の多くのダニは肉眼では見えないほど小さく、自分で餌をとる自由生活性を持つ。その糞や脱皮殻が喘息やアトピーの原因になる。
- ・マダニは野外の樹林地などで宿主動物となるシカ、犬、ネズミ、アライグマ、野鳥などに付いて吸血する。草や葉の先で動物が通るのを待っていて、それが時に人間に移って刺すことがある。つまりマダニがいるということは、そのような動物がいる環境ということ。
- ・幼虫から若虫、若虫から成虫になる時や産卵には吸血が必要で、基本的には1年のライフサイクルだが吸血できない場合はそれ以上かかることも。
- ・マダニは動物を一度刺すと、咬器をセメント状の物質で固めて離れないようにして1週間から10日くらい満腹になるまで吸血する。
- ・問題は、時にこれが感染症を媒介すること。日本でのダニ媒介はSFTS（重症熱性血小板減少症候群）の他、つつがむし病、日本紅斑熱、ライム病。2013年にSFTSが広がって関心が高まった。
- ・SFTSはこれまで110の症例が報告されており、致死率は約30%。但し、兵庫県以西のみの発症で、罹患するのは圧倒的に60代以上。農山村の樹林や農地で作業をしている人たちと想定できるし、発症と年齢が関係しているのかもしれない。但し、マダニは少しまとまった樹林地ならどこにでもいるし、西日本だけでなく全国でウイルスの抗体を持った動物が確認されている。
- ・夏だけでなく冬も同じようにマダニが見つかる。低温には強いが、濡れていたり雪だと出てこない。普通は膝より低い位置にいて衣類につき、隙間から肌に侵入する。刺されても痒みもなく、気がつきにくい。
- ・予防には、成分にディートが入った虫よけスプレーの効果が高いことが明らかになっている。化学物質を避けたい人などが使うハーブ系、ヒノキ系の虫よけはほとんど効果がない。ディートは幼児には使えないし子どもは親の監視下で使う必要があるが、日本では普通7%、最大12%の弱いものしか認められていない。これまで具体的な害も報告されていない。米国では100%のものもあるので比較する環境が違う。
- ・他に環境の整備として、発生エリアの藪の刈込みや宿主動物の侵入を防止する柵などの他、感染が具体的に疑われるような場所では殺虫剤も。
- ・野山から帰ったら、早目に入浴してダニが体についていないか確認する。衣類は洗剤液に浸けておく。その日のうちに発見できれば毛抜きでとれる可能性があるが、咬器が残らないようにうまく取ること。  
基本は医師にかかるのがよい。二日目以降なら必ず医師に。
- ・刺されたところを数日間注意していて、赤斑が広がるようならSFTSが疑われる。早目に治療すれば、劇的に効く抗生物質がある。
- ・ダニも生態系の中で大事な生きもの。マダニは、まとまった緑地や公園にはほとんどいるし、適切に予防し注意していれば対策はとれるが、マダニがいることが風評になると困るので公開を渋る自治体もあるのが実態。

報告：Charlie（中塚）

## ●カワセミファンクラブ定例写真展●

横浜自然観察の森には一年を通し様々な生物が棲んでいます。  
一年を掛け、この森のボランティアとしてカワセミファンクラブのメンバーが観察し、撮り貯めた野鳥やチョウ・トンボの写真を展示致します。  
この写真展を通し、一般の来場者にこの森の自然の多様性・奥深さについて理解が深まる事を願っています。

1. 開催期間：平成27年4月5日（日）～5月6日（水）
2. 開催場所：ゴロスケ館
3. 主催：カワセミファンクラブ

## ●トンボ池を掘ろう●

トンボ池では園内で見られるトンボ達が産卵しており、繁殖に欠かせない場所ですが、土砂の流入などで、埋もれてしまう危険に晒されています。  
皆様方の力で、池の泥上げ、除草を行い、トンボ達に優しい環境を保全しましょう。

1. 対象：会員（中学生以上限定）事前申し込み不要
2. 実施日時：平成27年5月10日（日）9時10分～
3. 集合場所：ゴロスケ館前
4. 持ち物：汚れて良い服装・帽子・飲み物・軍手・可能な方は弁当

担当：カワセミファンクラブ

## ●森の作業体験(大釜での炭焼き体験)●

大釜での炭焼きを体験してください。原木は装荷してありますので、着火から途中の温度コントロールが主な体験となります。ぜひご参加ください。

- 1 日時： 5月16日（土曜日）9時から14時まで。
- 2 集合場所・時間： 横浜自然観察の森 炭小屋。9時。
- 3 参加条件： 小学生以上。中学生以下の方は保護者同伴。先着15名。
- 4 服装： 作業可能な服装（長袖 長ズボン）、軍手、スニーカー、帽子
- 5 申し込み方法： 参加者全員の氏名、年齢、電話番号を記入して  
FAX：045-894-8892、または E-Mail: [kansatsunomori@gmail.com](mailto:kansatsunomori@gmail.com)  
までご連絡ください。
- 6 その他： 昼は味噌汁を出します。おにぎりなどをご持参ください。

担当：雑木林ファンクラブ

# Y OKHAMA NATURE ANCTUERY NEWS 4

横浜自然観察の森・自然観察センターだより

2015年 4月号

## ★2015年度の担当レンジャーです。よろしくお願いします★

チーフ・  
全体統括担当・  
環境管理担当  
**古南 幸弘**  
事務局・森の絵本づくりの会・雑木林ファンクラブ・畑プロジェクト・野草の保護と調査担当



この3月27日で観察の森29歳。皆さんのお力のおかげで本当になくなった森を仰ぎながら、この一年も感謝の気持ちで務めます。

環境調査担当  
**掛下 尚一郎**

鳥のくらし発見隊・  
カワセミファンクラブ・  
PJ-STRIX・定点カメラで動物調査・モニ1000里地担当



調査担当レンジャーとして、皆さんからいただいた大切な自然情報をさまざまな形で発信していきたいと思っています。

環境教育担当  
**尾崎理恵**

ハンミョウの会・  
森の絵本づくりの会・  
自然と遊ぶ担当



ご無沙汰しております。再び横浜の森で働けることを嬉しく思っております。環境教育業務を担当します。今後ご指導の程よろしくお願いいたします。

環境教育副担当  
**黒川マリア**

ハンミョウの会・  
自然と遊ぶ・  
畑プロジェクト担当



横浜に来て1年が経ちました。至らない点も多々あると思いますが、今後ともご指導の程よろしくお願いいたします！

環境管理副担当・  
環境教育副担当  
**瀧本宏招**

雑木林ファンクラブ・  
野草の調査と保護担当



観察の森6年目で初の管理担当です。心機一転、改めて森について皆さんと一緒に学んでいければと思います。

環境管理・  
環境教育・  
環境調査補佐  
**藤村啓**



着任して5ヶ月、「ぼーちゃん」です！皆さんから様々なことを学びたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

### 離任あいさつ 赤星 稔 (3月31日で退職。)

思えばあっという間の3年間でした。環境管理が主な仕事でしたが、夏の暑さと冬の寒さが結構きついものだと知りました。漸く季節ごとの注意すべきところが分ってきたところなので、正直言ってさびしい気持ちです。ボランティアコーディネイトはZFCさんと野草さんでした。ZFCさんとはクヌギの林のなかでの諸作業や炭焼きがとっても印象に残っています。野草さんにはいつもやさしく接して頂き、野草好きになりました。ZFC、野草グループの皆さんには感謝の気持ちで一杯です。有難うございました。

### 【参加募集】

#### 保全管理フォローアップの会 (保全管理の検討会改め)

第1回 5月9日(土) 13:00~15:00 研修室に集合。

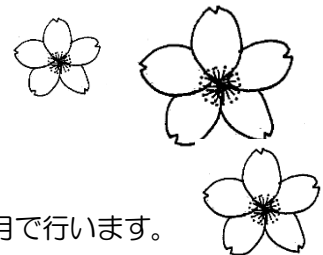
内容：桜林の植生の調査(冬の伐採の結果を確認します)

保全管理フォローアップの会は、雑木林管理ゾーン内の桜林のモニタリング、その他の管理区(炭小屋うらのスギ林など)の管理結果の確認や、勉強会を隔月で行います。園内の環境管理にご興味、ご意見をお持ちの方はどなたでもご参加ください。

年間予定：7/4(土) 9/5(土) 11/7(土) 1/9(土) 3/5(土)。

時間は基本的に13時から15時。(日時は変更する場合があります)

◎資料の準備の都合で、ご出席いただける方は前日までに古南、瀧本までご連絡ください。





## 今年もやります！～ゲンちゃんハイちゃんの紙芝居劇場～ サポーター募集！

◆日時：6月13日（土）、20日（土）、27日（土）（雨天の場合は翌日）

今年もセンター行事「ゲンちゃん ハイちゃんの紙芝居劇場」で、ホタルの観察マナーを啓発します。1回の行事に200人～500人の方が来園されますので、行事をサポートして下さる方を募集します。様々な役割がありますので、是非ご協力をお願いいたします。

■イベント時間：19:00～20:00 ■集合：17時半 自然観察センター研修室 ■解散：20時過ぎ

■持ち物：軽い夜食・飲み物・長袖・長ズボン・運動靴

■雨天延期・中止の場合当日の担当レンジャーから連絡を入れさせていただきます。

■お力を貸していただけの方は、レンジャー黒川までご連絡ください！ E-mail: [kurokawa-m@wbsj.org](mailto:kurokawa-m@wbsj.org)

### 【報告】

#### 保安全管理の懇談会 2月22日（土）13:00～15:00

○出席者（14人） 友の会 山口博一さん・大浦晴壽さん・村松古明さん・片岡章さん・関根和彦さん・漆原弘光さん・落合道夫さん・吉田賢一さん・大越哲朗さん・篠原由紀子さん・上原明子さん・藤田薫さん・藤田剛さん・田丸義夫さん・横浜市みどりアップ推進課 岩間隆男さん・大浦康史さん・井上雅人さん・レンジャー 古南幸弘・赤星稔・掛下尚一郎

○内容 今年度の横浜市と委託業者さん、レンジャーの行なった草刈・伐採・工事の結果を共有し、意見交換を行いました。竹林伐採の処理方法や、桜林の斜面の木の伐採方法について改善案、外来植物の除去の課題等を話し合いました。

#### 補修工事について

以下の補修工事は3月31日までに終了いたしました。これらの工事結果について何かお気づきの点があれば、レンジャーまでお知らせください。（モンキチョウの広場の雨水対策、長倉口の川沿いの柵設置、コナラの道6付近の手すり設置、野外解説板・サイン類の取替え、霊園口の石畳の滑り止め、円海山ハイキングコース上の標柱の埋め直し等）長倉口野外トイレの移設・改修は、6月末迄の予定で実施中です。またピクニック広場は水道施設の耐震工事のため引き続き再来年1月まで使用できません。ご承知おきください。

#### アライグマ捕獲が終了しました

3月18日をもって今期のアライグマの捕獲を終了しました。11月から開始して17頭もの捕獲に成功し大きな成果を残すことができました。この間、友の会有志で84日延べ117人もの方に巡回やワナの設置などにご協力いただきました。皆さんの協力がなくてはとても達成できませんでした。この場をお借りして感謝申し上げます。取り組みはまだはじまったばかりです。この成果を次期にもしっかりといかしてまいります。（掛下）

ボランティア

\*\* 2/8～4/9 \*\*

ありがとう

- 2/22 保安全管理懇談会にご出席いただいた皆さん：園内の環境管理の振り返りと来年度計画への意見
- 2/25 雑木林ファンクラブ スリットドラム寄贈
- 3/5 雑木林ファンクラブ スリットドラム修理
- 3/18 疥癬症に罹ったタヌキの搬送：片岡章さん
- 2/8～4/9 カワセミファンクラブの皆さん 展示用野鳥・昆虫写真、自然情報のご提供
- 2/8～4/9 事務局内グループ「野草の調査と保護」の皆さん：開花情報のご提供
- 2/8～3/18 アライグマ捕獲巡回ボランティアの皆さん：アライグマ捕獲わなの巡回

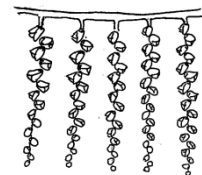


イラスト 黒川マリア



横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:[yokohama-nc@wbsj.org](mailto:yokohama-nc@wbsj.org)

<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

# 行事スケジュール 4月～6月

■：センター行事  
●：友の会行事  
★：共催行事

## ●季節行事●

### ●カワセミファンクラブ定例写真展

4/5(日)～5/6(水)

場所：ゴロスケ館

担当：カワセミファンクラブ →7ページ参照

### ●トンボ池を掘ろう

→7ページ参照

5/10(日) 9:10～

対象：友の会会員(中学生以上限定)

集合：ゴロスケ館前 担当：カワセミファンクラブ

### ●森の作業体験(大釜での炭焼き体験)

5/16(土) 9:00～14:00

対象：小学生以上。中学生以下の方は保護者同伴

申込：必要。先着15名。FAXかメールにて

担当：雑木林ファンクラブ →7ページ参照

## ●センター主催行事●

### ■【親子でバードウォッチング～さえずり響く森で～】

5/24(日) 10:00～13:30(雨天決行)

対象 6歳～中学生までの親子30名

申込 行事名、全員のお名前(小学生は年齢)、電話番号、返信先を書いて、FAX、E-mailまたは往復はがきで自然観察センターまで。

5/15×切

担当：自然観察センター

### ■【ゲンちゃん・ヘイちゃんの紙芝居劇場】

6/13(土)・6/20(土)・6/27(土)

19:00～20:00(雨天の場合は翌日に延期)

集合場所：自然観察センター前

※ボランティアさん募集は9ページをご覧ください

担当：自然観察センター

## ●定例行事●

### ★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会の活動内容紹介とルールを～

6/21(日) 9:30～14:00 雨天催行

テーマ：「行く鳥、来る鳥」

受付：直接、自然観察センターの研修室へ

対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴

\*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

## ●定例行事●

### ●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～

5/3(日)・6/7(日)

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

### ●定点カメラで動物調査 →1ページ参照

5/9(土)・6/13(土)

9:30～12:00

※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。

対象：友の会会員向け

持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参

集合：ゴロスケ館集合

活動日：5月～11月の毎月第2土曜日

担当：定点カメラで動物調査

### ●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

5/10(日)・6/14(日)

9:00～13:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

### ●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

5/20(水)・6/17(水)

10:00～12:00 絵本製作

受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

### ●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

5/16(土)・6/20(土)

10:00～12:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

### ●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

4/25(土)・5/23(土)・6/27(土)

1回目 13:00～ 2回目 14:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2015年4月19日

発行 横浜自然観察の森友の会

F A X 045-894-8892

E-mail: kansatsunomori@gmail.com